

第 3 章

施策No.

3-9

消費者対策の充実

▼政策目標

3 自然と共生する快適・安全なうわじま

▼施策

3-1 環境自治体の形成

3-2 水道の整備

3-3 下水道の整備

3-4 廃棄物処理体制の充実

3-5 墓地・斎場の整備

3-6 公園の整備と緑化の推進

3-7 消防・防災体制の充実

3-8 交通安全・防犯体制の充実

3-9 消費者対策の充実

▼施策の内容

3-9-1 消費者教育・啓発等の推進

P160

▼主要事業

消費者教育事業

消費者啓発事業

金融学習グループ事業

3-9-2 消費生活相談窓口の充実

P161

消費者相談窓口事業



9 消費者対策の充実

施策の方針

消費者の自立支援とトラブルの未然防止に向け、近年の環境変化を踏まえた消費者対策を推進します。

現状と課題

近年、振り込め詐欺や有料サイトの架空請求など、悪質商法の手口が複雑・巧妙化しており、消費者被害は全国的に深刻化する傾向にあります。また、複数の金融業者から借入れをしている多重債務者が増加しているほか、施設・設備や電気製品等による生命や身体に危害が及ぶような事件・事故が相次いでおり、身近な安全・安心に対する人々の関心が高まっています。

本市では、消費者相談の件数は平成16年度をピークに若干減少傾向にありますが、10年前と比較すると約3倍に増加し、その内容は深刻化しています。また、高齢化に伴い、高齢者からの相談が増加し、相談件数は10年前の約5倍となっていることから、高齢者に対する悪質商法被害を防止する仕組みを構築することが急務となっています。

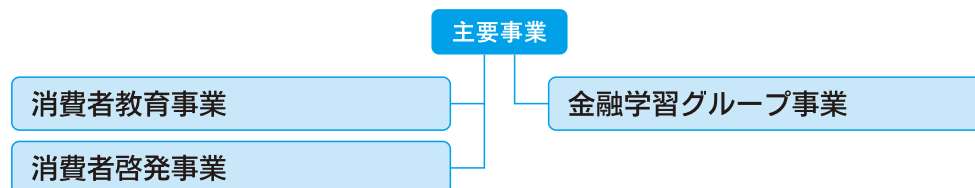
市民の安全・安心の確保は、国・県・市の基本的な責務であり、企業も安全な製品やサービスを提供する責務は負わなければならない。それらによる事故があった場合は、被害の拡大防止のため迅速な対応を行わなければなりません。また、消費者自らも、製品の安全な取り扱いや事業者への的確な対応ができるような知識・習慣を養うことが求められます。

このため、平成17年に策定された国の消費者基本計画及び平成18年に改正された消費生活用製品安全法等に基づき、今後一層、関係機関・団体との連携を密にしながら、消費者教育・啓発の推進や相談窓口の充実等に努める必要があります。

● 施策の内容

3-9-1 消費者教育・啓発等の推進

- ① 県生活センター等関係機関・団体との連携のもと、消費者講座の開催や学校教育、生涯学習における消費者教育の推進、広報紙・ホームページ等の活用による消費生活情報の提供など、消費者教育・啓発等を推進し、市民の消費生活意識の高揚に努めます。
- ② 金融学習グループの育成等を通じ、市民の自主的な消費生活に関する知識の習得等を促進します。



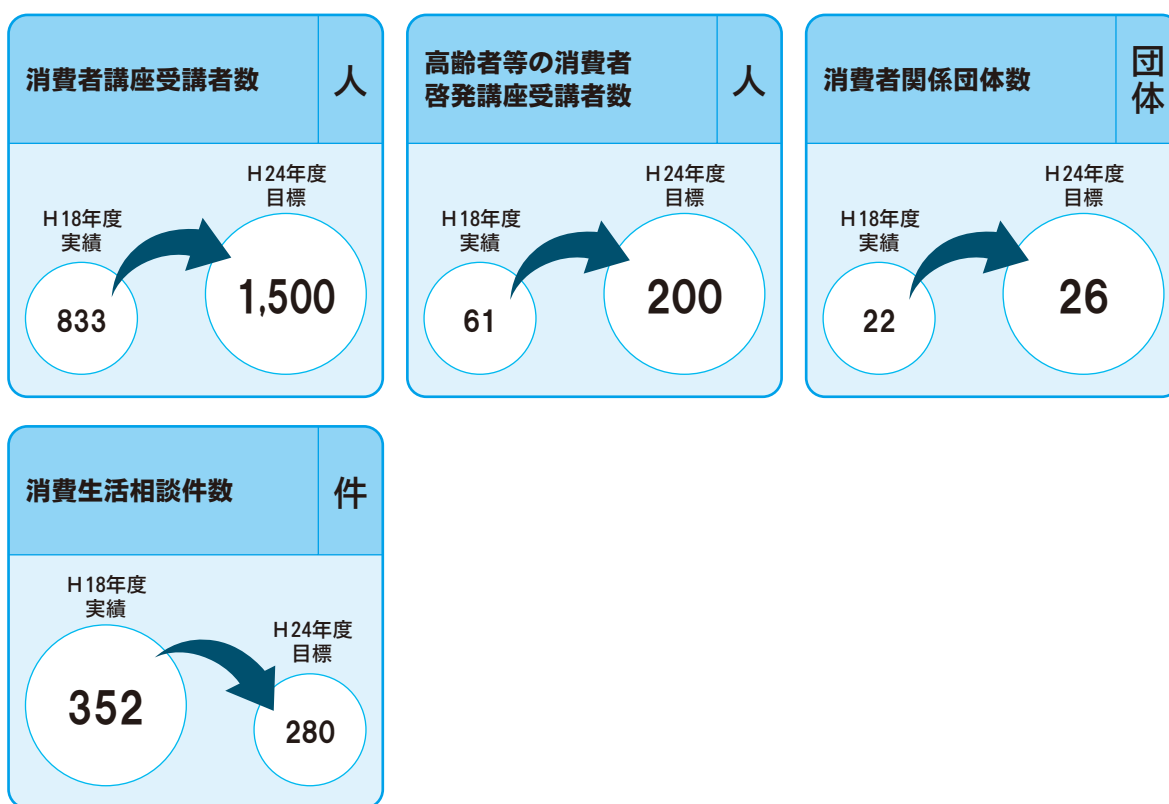
3-9-2 消費生活相談窓口の充実

事情を丁寧に聞き取り、具体的な解決方法の検討・助言を行うとともに、必要に応じて専門機関に紹介・誘導するなど、相談体制・内容の充実を図ります。

主要事業

消費者相談窓口事業

● 成果指標



ね ^{ねこ}猫の手も ^か借りたい ^{しゅうかく き}みかん収穫期

みかん



宇和島では、温暖で適度な降雨量に恵まれた気候を利用して、みかん栽培が盛んに行われています。愛媛県のみかん栽培発祥の地である吉田町は、質・量ともに全国トップクラスを誇る生産地です。秋が深まる頃、山並みが黄金の色に染まり収穫期をむかえます。みかんの他にもポンカンやデコポンなど様々な品種が作られており、収穫は秋から春にかけて、冬が最も忙しい時期にあたり、段々畑のいたる所で収穫風景が見られます。

の ^{の がわ}野川から ^{うめ が なる こ}梅ヶ成越え ^{まん ねん ばし}万年橋

万年橋の碑



天保11（1840）年、宇和島藩は土佐の幡多北部（西土佐）との産物交易のため、野川から梅ヶ成峠を越え、滑床溪谷を経て松野町目黒に至る道路を完成させました。工事に伴う経費は藩内の町家有志が出し、1年の歳月を費やし、約8,300人が作業にあたりました。万年橋の碑は、開通を記念して刻まれたもので、碑文と書は金剛山大隆寺の住職晦巖和尚^{まいがん}によるものです。地方の交通・産業史上貴重な資料とされています。